

コバンウ今月のお知らせ Vol.79

新元号 令和元年がはじまりました。これからの建築業界動向は？

5月1日 新元号 令和元年が始まりました。
平成はバブル崩壊に続きリーマンショック、そして自然災害等々経済に大きな打撃がありました。令和はどのようになっていくのでしょうか？もちろん令和になったからといって経済がすぐに上向きになることはないでしょう。しかし、これからの日本をよくしていくのは今いる我々であり、経済発展には我々自身の力も必要です。そして建築、内装業界の発展の為に今後も努力してまいります。その一環として皆様方に役立つ情報を発信してまいりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。

さて、令和になり最も大きな国民的イベントといえば東京オリンピックでしょう。建築業界もオリンピック景気で忙しく動いています。では、オリンピック後の建築業界はどうなるのでしょうか？オリンピック後は景気は下向きになるのでは？という方も多数おり、心配されている方もいるでしょう。しかし、様々な情報から予測していきますと過大な心配はなさそうです。国交省から毎年発表される建設投資額の推移ではピークは平成4年度の84兆円。その後右肩下がりになり平成22年度に42兆円で底をつき、平成25年度からは復調しはじめ50兆円を超え、平成30年度の見通しは57兆円でした。そして今後数年は横ばいか増加傾向の推移ではと考えられています。ということは今年度以降も昨年度並みかもしくはそれ以上の物件があるということです。



今後も建設業界の仕事量が減らないという根拠として第一には建物や道路がある限り建設需要はなくなりません。インフラ産業のため市場規模がいきなり縮小することはないと考えられます。確かに、海外の経済動向が日本の経済に影響を与えます。中国の動向、アメリカの動向は輸出量に大きな影響があり、日本経済が冷え込むと、企業の設備投資や一般家庭の支出が抑えられると予測できますが、専門家の話では国内需要は安定的にあるだろうとの見方が強いです。その一つは大規模都市開発です。リニア新幹線開通に向けて大規模な開発が行われます。また、都市圏への人口集中に伴う再開発は今後も続くと言われております。現に東京都市心ではオフィスビルの竣工ラッシュとなっています。また政府は今後、公共事も増やしていく考えを示しており、地方景気の下支えが出来るようテコ入れを計っていくと思われれます。

二つ目は建物等の整備・維持があります。これは建物の老朽化に伴う維持修繕が増えていく見方があり、実際に建設投資額の中の維持修繕費は増加傾向にあります。その他には大阪万博やカジノ計画もあり、それに伴いホテルなどの建設があるでしょう。最後に建設工事自体をオリンピック後にという施主も多いとの見方です。オリンピック前は工事費が高騰する為にオリンピック後という要望があるのです。いかがでしょうか？先の動きは100%はわかりませんが細かく見ていくとそれなりのポジティブな要素が見えています。

直近の課題はなにか？

市場はまだまだあるとの見方はおわかりいただけたと思いますが問題もあります。それは人手不足です。我々中小企業がここ数年直面している大きな課題です。いまや、職人さんの人手不足とそれによる失注、人手不足倒産も耳にします。では我々中小企業はどんな対策が必要でしょうか？まずは職人さんの雇用環境の改善が求められています。社会保険への加入、週休2日もしくは隔週休2日などの雇用形態など多様な働き方を実現できる雇用環境の改善は必須となっています。また、以前は建設投資が減少するなか、景気の波による受注量の変化に対応する為、自社で職人を雇用するよりも一人親方として独立してもらい形も多く見られました。しかし、現在は行政による社保加入促進により一人親方で独立するよりも、会社の社員職人として働く方が良いという選択をする人も増えているようです。どんなに仕事量があっても人手がなければ請け負うこともできません。人手不足の改善には我々が今出来ること、やらなければならないことをしっかりと行っていくことが必要かと思えます。

東リ インテリア歴史館がオープン

2019年4月1日より「東リ インテリア歴史館」がオープン致しました。
「東リ日本館事務所」(旧東洋リノリウム)は伊丹本社の工場敷地内に現存し、創立の翌年1920年に管理棟として建設されました。近代建築黎明期を代表する建築家、渡辺節氏の設計による建物で半切り妻造り、柱や梁を外部に露出させたハーフトンバースタイル、幾何学模様で装飾された庇付きの玄関および柔らかなさくら色の外壁が特徴で2007年には伊丹市より景観重要建造物として指定されました。「東リ インテリア歴史館」では創業からの製品や技術を紹介しながら日本のインテリアの歴史とともに歩んできた東リの軌跡をご覧いただけます。

川島織物セルコン「宮内省御用達 川島織物と明治宮殿展」を開催

株式会社川島織物セルコンの運営する企業博物館 川島織物文化館は、天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位にあわせ、明治宮殿の室内装飾織物にまつわる資料より同社のモノづくりを紹介する『川島織物と明治宮殿』展 を2019年4月20日から6月25日まで、LIXIL：GINZA（所在地：東京都中央区）で開催中です。

川島織物セルコンは、京都・西陣を発祥とする織物メーカーです。創業者から事業を受け継いだ二代川島甚兵衛が、明治宮殿に室内装飾を納めたことなどから、1891年に宮内省御用達国内第一号に任命されました。以降、皇室や関連行事で使われる織物を多く製織しています。本展覧会では、同社が宮内省御用達を賜るきっかけとなった明治宮殿の室内を彩った染織品にまつわる資料から、こだわりのモノづくりを紹介しています。

明治宮殿は、その名の通り明治天皇のお住まいとして1888(明治21)年に竣工した建物です。二代目・川島甚兵衛の明治宮殿への思い入れは強く、皇居ご造営の計画が持ち上がり、西洋式の宮殿となるのが有力で資材の多くは輸入品が採用される予定であることを知ると、日本を代表する建物の内装は日本・西陣で製織すべきであり、西陣の技量は決して海外に劣らないと訴えました。特に、1886(明治19)年に出かけた西欧視察で室内装飾に用いられるファブリックを目の当たりにし、室内装飾織物の研究を重ね、明治宮殿の室内装飾織物の製織にこぎつけました。

西溜りの壁面を飾る壁掛として製作した縦3.03メートル、横6.06メートルの一对(2枚一組)の綴織壁掛「富士巻狩」の原画に加え、正殿を飾った緞帳(窓掛)「鳳凰に唐草模様」の下絵と試織、牡丹之間(婦人室)の紋織緞帳(窓掛)「秋草紋様菊花之図」の試織なども展示します。明治宮殿は第二次世界大戦の空襲にあい消失してしまったため、資料があまり残されていません。宮殿を知りたいへん貴重な資料となっておりますので是非ご覧ください。

LIXILギャラリー

ご利用案内・アクセス

ギャラリー1/2/3(東京)

開館時間 10:00~18:00 観覧料 無料 休館日 水曜日、年末年始、夏季休業 住所 〒104-0031

東京都中央区京橋3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL：GINZA 2F TEL：03-5250-6530

FAX：03-5250-6549



ヤヨイ化学より新商品発売 「プロジェクト輝」「目地ガード」

ヤヨイ化学販売(株)は新商品を順次発売していますが、このほど上塗りパテ「プロジェクト輝」と、目地部分のクラック防止用パテ「目地ガード」の2種類を新発売しました。「プロジェクト輝」は、上塗りパテながら、ヤセが極めて少なく、肉付けのしやすい塗布感となっており、作業性、おさまり性、クロスとの接着性に優れている。3.5kg×4の荷姿で、硬化時間は60分と120分を用意しております。「目地ガード」は、同社で発売している「耐振パテ」のペースタイプで衝撃に強く、目地部のクラック防止に最適です。また、500gのチューブ入りペースタイプのため、練り手間が不要で無駄なく使えます。内装下地の目地部補強、ドア枠廻りなどクラックの発生しやすいジョイントの補強にお使いください。

そして..YAYOIのパテが分かりやすくタイプ別にマーク表示されました！！ヤヨイのパテがお好みにあわせて選びやすくなりました。

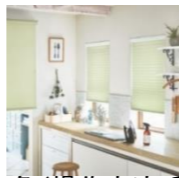
※タイプ別マーク表示のラインナップは、下記のタイプ別早見表をご覧ください。



	選別マーク	パテの特長
下塗り用	UⅠ	キメが粗く、厚盛り性に優れる下塗りパテ
	UⅡ	キメの粗さが中程度で、ミミ切れの良い下塗りパテ
	UⅢ	キメが細かく、スジ引きのない下塗りパテ
上塗り用	TⅠ	ヤセの少ない上塗りパテ
	TⅡ	肉付けのしやすい上塗りパテ
	TⅢ	塗布性が軽く、ノビの良い上塗りパテ

ニチベイよりポポラ等モデルチェンジ

(株)ニチベイはロールスクリーン、パーチカルブラインド、バンブーブラインド、プリーツスクリーン、アルミブラインドを掲載した人気カタログ「ポポラ」をモデルチェンジ、新たに「ポポラ2」として4月15日(月)に新発売いたしました。新アイテムとして3種類(ロールスクリーン、パーチカルブラインド、プリーツスクリーン)に対応しトータルコーディネートが可能な「ポポラファン」遮熱性能のあるシースルー生地「コトン遮熱」、和紙調の不織布生地「ノドカ」を投入するなど生地やスラットカラーを刷新しさまざまなインテリアスタイルに対応、安心安全面を重視するなど、1冊で窓まわりのトータルコーディネートを提案。ロールスクリーン55色(操作方法5種類)、パーチカルブラインド40色(操作方法2種類)、プリーツスクリーン50色(操作方法7種類)、バンブーブラインド(操作方法2種類)、アルミブラインド15色(操作方法2種類)。全87色のラインナップになります。



TOSO ホームページを大幅リニューアル

TOSOがウェブサイトを大幅リニューアルしました。ナビゲーションメニューの設定により、製品情報へのアクセス方法が向上、トップページと製品情報を中心とし3月22日より公開をスタートしました。見たい情報へ最短でたどり着ける構造になり高い視認性と利便性の向上を図りました。

各製品ページにリンク先(WEBカタログの該当ページ)を入れたことで、詳細情報が確認しやすくなり従来の製品情報ページでは、カタログに掲載している多くの情報を盛り込んでいましたが、必要な情報を厳選して1ページに集約することで、わかりやすい仕様へと変更しています。もちろん、スマートフォンや各種デバイスからのアクセスにも対応していますので一度ご覧になってみてはいかがでしょうか？

タチカワブラインドより ロールスクリーンデュオレ生地をリニューアル

モダンな意匠性が人気のロールスクリーン『デュオレ』の生地ラインナップを拡充し、6月3日(月)より発売します。

◆インテリアの楽しみが広がる生地ラインナップを拡充

『デュオレ』は、生地を降ろしたままでも採光が可能で、プライバシーを守りながら光の量を調節できる調光ロールスクリーンです。今回、新たに新柄「エクーレ」「ビブラ」「スキエ」の3柄8アイテム、継続柄「クエンテ」「ダンテ」に新色8アイテムを追加し、全6柄27アイテムを取り揃えました。また、製品の高さを最大280cm※まで拡大したことで、天井が高く開放感のある大開口の窓にも対応でき、住宅から商業施設まで幅広い用途でご使用いただけます。

※生地によって製作可能寸法が異なります。

◆意匠性が向上したロールスクリーン「デュオレスリム」

コンパクトな納まりの「デュオレスリム」は、フレームに「正面カバー」を新たに追加し製品上部の生地巻取り部を覆うことで、よりすっきりとした意匠性を実現しました。また、製品下部のウェイトバーが従来よりも小さくなり、生地を巻き上げた際にも窓枠内にコンパクトに納まるので、小窓や腰高窓におすすめです。部品色は単色3色に、木目調3色を追加し、生地やインテリアスタイルにあわせてお選びいただけます。

◆安全性と利便性に優れた「マルチチェーンハンガー」(オプション)新登場

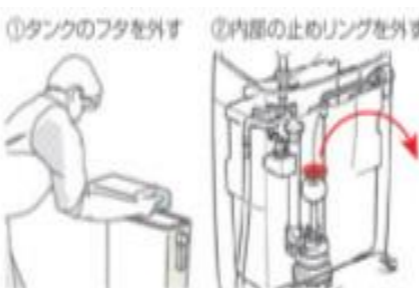
子どもの手の届かない位置に操作チェーンを束ねることができるオプションの部品「マルチチェーンハンガー」が新登場。さらに、付属のフックを壁に固定し、「マルチチェーンハンガー」を掛けることで、壁に掛けたまま操作が可能で、小さなお子様のいるご家庭でも安心してご使用いただけます。

LIXILより 災害配慮トイレ新発売

株式会社LIXILは、平常時も災害時も、いつもと同じ場所・同じ使い方、子供から高齢者まで誰でも使えるINAX災害配慮トイレ「レジリエンストイレ」を開発、4月1日より全国で発売しました。平成の30年間、日本はいくつもの自然災害に見舞われ、避難所での生活を余儀なくされる方々も多くいらっしゃいました。避難所生活における断水下では、トイレが喫緊の問題となり、普段通り水洗トイレが使用できない環境が、衛生面での問題はもちろん、被災者の精神的な負担や健康障害に繋がることも大きな課題となっています。

■INAX災害配慮トイレ「レジリエンストイレ」特長

レジリエンストイレは、平常時にはトイレブース内に設置し、本設トイレとして使用でき災害時でも平常時と変わらず、同じ場所で使用できます。災害での断水時、いつものトイレをそのまま快適に使用できるようにすることで、被災者のストレス軽減に繋げるとともに、高齢者や、障がいのある方、子どもや女性など誰でも安心して利用できるトイレ環境を提供することが可能となります。通常時は5L、断水時は1Lの水洗に切り替え可能で洗浄ハンドルと開閉弁がロッドで連動し、洗浄ハンドルを回すことで作動する「強制開閉弁」を採用し平常時は5L、洗浄水量1Lでも汚物をスムーズに排出します。切り替えはタンクのフタを外し、内部の止めリングを外すだけの簡単操作です。1L洗浄は、持ち運んだ水をトイレ鉢内に入れるか、タンクに注水するかの2つの方法を用意しており、状況により選択が可能です。水洗トイレに強制開閉弁を組み合わせる発想で、平常時は水洗トイレとして使用でき、断水時には1Lの洗浄水で汚物を配管に排出します。開閉弁と溜水の二重防臭構造で嫌な臭いを防ぎます。



新見本帳発売案内

◆サンゲツ 壁紙見本帳「2019-2021 ファイン1000」5/16発刊

新たになった「ファイン1000」は、コーディネートアイデアをわかりやすく提案しているのが特徴で、巻頭企画「コーディネートレシピCheck“it”Room」では、インテリアスタイリストの上級テクニックを紹介、またさまざまなライフスタイルに合わせてカーテンとのコーディネートやカラー・柄物壁紙の空間への取り入れ方などを提案しています。見本帳のカテゴリ分類も一新、「Daily」「Joyful」「Cool」「Rich」の4つの分類に変更しました。さらに新シリーズとして「MOOMIN」を追加、北欧らしいやさしい色使いで、ムーミンの詩情あふれる物語を表現しています。従来の「Finlayson」シリーズと合わせて北欧の世界観が存分に楽しめます。総アイテム数は828点。

◆リリカラ 壁紙見本帳「LIGHT 2019-2022」5/15発行

新「LIGHT」では、使いやすいベーシックからアクセントにおすすめのパターン&カラー、機能性商品などホームユース向け商品を豊富にラインナップ、また非住宅向けの不燃認定壁紙も充実させました。収録点数は壁紙992点(うち新柄215点)。他にデジタル・デコ、ジョイナーを収録。価格は1000円/m(ボーダー、デジタル・デコ除く)となっています。

また、収録壁紙全点にて、CGや3Dパースで使えるシームレス生地画像データを用意、同社ホームページ「商品検索」からダウンロードができます。



Windows7 サポート終了のお知らせ

今日仕事上でパソコンを使わないという人はとても少なくなったと思います。見積、請求書、現場管理等々情報処理ツールとしてお使いの方がほとんどだと思われるが、そんな中、先日マイクロソフトからWindows7のサポート終了の案内が出されました。マイクロソフトのWindowsバージョンは現在10ですがWindows7をご使用になっている方も多数お見かけ致します。

Windows7の具体的なサポートの終了の日程は、2020年1月14日です。サポート終了の後、お客様にPCを保護する為の技術的なサポートやWindows updateからの具体的な更新は、当該製品に対してご利用頂けなくなります。Microsoftでは、2020年1月までにWindows10に移行することを強くお勧めしており、これにより必要なサポートやサービスが利用できなくなるという事態を回避することができます。ビジネス用途ではセキュリティ上、特にこのサポートは非常に重要です。

今の世の中は情報社会です。そして情報は資産でもあります。情報を守ることは非常に大切なことです。OSバージョンアップやパソコンの買い替え等検討してみてはいかがでしょうか。

ちょっと雑学 ランドセルの歴史と由来

入学式も終わり、街では真新しいランドセルを背負った小学一年生を見かけることが多くなりましたね、ところで小学校といえばランドセルですが小学生しか使用しないランドセル。6年間使い続けるランドセル。考えてみると素晴らしい耐久性があるとは思いませんか？そんなランドセルの歴史や由来をご紹介します。

ランドセルとははじめ

幕末に輸入され、軍隊で活用されるようになった布製の背のうが、その始まりだとされています。国によって様々な通学かばんがありますが、箱型で背負式の、いわゆる"ランドセル"は、日本独自のものでその起源は、明治20年までさかのぼります。

明治時代のランドセル

ランドセルの発祥とされているのは、明治10年10月に開校した学習院で当初から服装については統一されていましたが通学形態については、馬車で通ったり、使用人に荷物を預けたりと様々でした。しかし、その状況について学習院は、「学校では皆平等、家庭環境を教育の場に持ち込むのはいけない」との理念のもと、「学用品は自分の手でもってくる」べきだとし、子どもたちは、馬車や人力車で通学することや使用人に荷物を預けることを禁止されました。その際に採用されたのが、背中に添えて両手をあけることができ、持ち運びの利便性が良かった、軍隊用の背のうです。この背のうがオランダ語で"ランセル"と呼ばれていたことから、"ランドセル"という言葉が生まれました。

箱型ランドセルの誕生

リュックサックに近い形の背のうが、現在のようなしっかりとした箱型ランドセルに変わったのは、明治20年のことです。大正天皇の学習院ご入学祝いに、伊藤博文が箱型の通学かばんを献上しましたが、これが、ランドセルの始まりだとされています。

素材が黒革に決定したのは、3年後の明治23年。明治30年には、細やかな形状や寸法(縦一尺一寸、横一尺五分、マチ幅二寸五分)などが統一され、いわゆる"学習院型"が完成しました。以降、100年以上経過しても基本的なスタイルはまったく変わっていません。この伝統を引き継いだランドセルこそが、"学習院型ランドセル"です。

現在のランドセル

「背負うことによって、子どもの負担が軽減できる」、「両手が自由に使える」などの長所から、ランドセルは、小学生用の通学かばんとして広く普及していきました。世界中を見渡しても、似たような背負式の通学かばんは、それほど多くありません。

現在では、海外でも人気のあるランドセル。ランドセルは、"日本独自の文化"だと言えるでしょう。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

コバソウ休業日のご案内

5・6月の休業日のご案内になります。